

# ニュースクリップ & 映像教材

- 「第22回教育情報化政策セミナー」開催
- 「第22回学習ソフトウェアコンクール」作品募集
- 「メディアポスト2005～小中学校を対象にした学習成果発表コンテスト～」受賞校決定
- 「第17回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞」入賞作品決定

## 研究会情報

### ■「第22回教育情報化政策セミナー」開催

(社)日本教育工学振興会では、『省庁連携「IT新改革戦略」パネルディスカッション』と題し、標記セミナーを開催する。

今年1月に政府のIT戦略本部が決定した「IT新改革戦略」における「IT基盤の整備」の中で、“次世代を見据えた人的基盤づくり”の内容が具体的に明示されている。また、“世界に通用する高度IT人材の育成”、“次世代のIT社会の基盤となる研究開発の推進”が重要な項目として提示されている。

今回はこうした視点に焦点を当てながら、平成18年度諸事業を踏まえた各省の政策をパネル形式でうかがう。

〈日時〉

平成18年3月16日(木)

13:15~17:45

18:00から情報交換会

〈会場〉

ホテルフロラシオン青山(東京青山会館)1F「ふじ」

東京都港区南青山4-17-58

〈内容〉

○「ICT活用促進キャンペーン」に向けた大臣のビデオメッセージ／小坂文部科学大臣、竹中総務大臣

○「ICT教育先進国への道程」／坂元昂氏(日本教育工学振興会会長)

○パネルディスカッション

パネリスト／黒瀬泰平氏(内閣官房IT(情報通信技術)担当室内閣参事官、嶋貴和男氏(文部科学省初等中等教育局参事官)、上原仁氏(総務省情報通信政策局情報通信利用促進課長)、鍛治克彦氏(経済産業省商務情報政策局情報処理振興課長)

コーディネーター／坂元昂氏

(日本教育工学振興会会長)

〈参加費〉

日本教育工学振興会会員8,000円／教職員・教育委員会等4,000円／一般12,000円

〈参加申し込み〉

webページ(<http://www.japet.or.jp>)にて参加申し込み。

〈問い合わせ先〉

(社)日本教育工学振興会 事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル

TEL 03-5251-0751

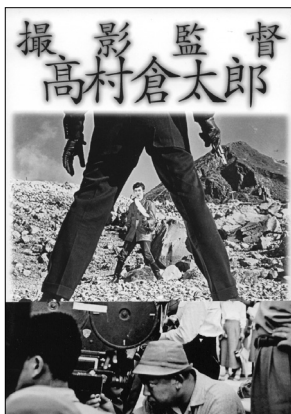
FAX 03-5251-0752

## コンクール情報

### ■「第22回学習ソフトウェアコンクール」作品募集

(財)学習ソフトウェア情報研究センターでは、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、および養護学校等の授業で学習するために作成されたソフトウェアやデジタルコンテンツ

## ブックレビュー



## 「撮影監督 高村倉太郎」

高村倉太郎著 NPO法人日本映画映像文化振興センター・協同組合日本映画撮影監督協会編 ワイズ出版  
2005年12月刊 A5判527頁 3,800円(税別)  
(問合せ：日本映画映像文化振興センター／03-3200-2118)

高村倉太郎は、昭和の日本映画界を代表する撮影監督のひとりである。当然、『幕末太陽伝』(57 川島雄三)『非行少女』(63 浦山桐郎)など幾多の名作映画に携わった現場での経験や技法を次の世代に伝えていただくべきだろう。平成に入ってからの高村さんは、日本映画撮影監督協会のトップとして、日活芸術学院の講師(最後には学院長)として、文化庁の映画振興政策アドバイザーとして、そうした役割を存分に果たしてきた。

だが同時に、高村さんの残した輝かしい業績を記録して後世へ残す必要がある。この本は、そのために企画された。映画人の聞き書きに定評ある円尾敏郎氏による高村インタビューは、劇場用映画約140本、テレビ映画約200本をはじめ莫大な数の映像

作品を撮影した軌跡を余すところなく伝えてくれる。また、高村さん自身の筆による随想は映画界の移り変わりを感じさせるし、作品に即した専門的なレポートは貴重な資料である。

1939年に撮影所の門を叩いて以来貫かれた六十余年の映画人生における人脈は実に豊富で、ゆかりの人々が寄せた高村さんとの思い出を綴るエッセイも多数収録されている。浅丘ルリ子、吉永小百合、和泉雅子、小林旭、穴戸錠、高橋英樹といったスターたち、撮影現場のスタッフたち、監督たち…それだけ皆に愛された高村さんは、しかし、昨年11月21日、84年の生涯を閉じた。この本の出版記念会、池袋の新文芸坐での2週間にわたる記念特集上映をわずか数日後に控えてのことである。(寺脇 研)

を対象に、毎年標記コンクールを実施しており、本年も下記の内容にて実施される。

〈対象作品〉

A. 先生等が作成したもの…先生等の応募資格者が、児童生徒の学習のために作成したどのような形態またはこれらを複合するソフトウェア、コンテンツ

①ドリル学習型、解説指導型、シミュレーション型、ツール型等のソフトウェア

②静止画、動画、アニメなどの素材を集積した素材集等

③PC上で動作するDVDビデオや動画(一連の流れをもつもの)

④学習したり、映像等素材を提示・提供するなどの学習用ホームページ

B. 児童生徒が作成したもの…先生の指導のもとに、児童生徒が総合的な学習の時間等授業で作成した上記形態またはこれらを複合するソフトウェア、コン

テンツ

〈賞〉

文部科学大臣奨励賞(団体賞、個人賞)、学情研賞、他

〈応募資格〉

①団体：学校、教育委員会、教育センター等(企業は除く)、先生の指導のもとにあるクラス等の児童生徒

②個人：学校の先生、教育委員会・教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等

〈応募期限〉

平成18年5月10日(水)

〈問い合わせ先〉

(財)学習情報ソフトウェア情報研究センター コンクール係  
〒160-0012 東京都新宿区南元町23番地(公立共済四谷ビル4F)  
TEL 03-5919-3401  
FAX 03-5919-3402

■「メディアポスト2005～小中学校を対象にした学習成果発表コンテスト～」受賞校決定

子どもたちの創造性豊かなIT活用を奨励する『メディアポスト2005～小中学校を対象にした学習成果発表コンテスト～』(メディアポスト実行委員会主催、文科省、(財)日本視聴覚教育協会他後援、日立マクセル協賛、審査委員長・永野和男聖心女子大学教授)の受賞校が決定した。同コンテストは今年で10回目。

本年度の応募作品の傾向で特徴的だったのは、これまでの学習成果に付記する形で、年度を越えてさらに深いところまで掘り下げていく継続・計画的な作品が目立ったことである。

そのほかブログツールを利用して子どもたちの日々の活動を記録したものなど、新しいメディア表現の試みに期待が持たれた。

文部科学大臣奨励賞に輝いたのは、小学校部門が宮城県仙台市立北六番丁小学校5年の「梅

## ブックレビュー



### 「学校の情報セキュリティ —教師が取り組む個人情報 保護—」

村上今雄・野間俊彦著 ぎょうせい  
2005年11月刊 A5判 176頁  
1,700円(税込)

私の勤務する学校も昨年12月に校内LANが完成し、各普通教室にコンピュータが配置され、普通教室からインターネットが利用できる環境になった。来年度には、学校のホームページが立ち上げられないかと考えている。

ところで、私の勤務する地区では、昨年度、公立の小中学校が夜間侵入者に荒らされ、現金やノートパソコン等が盗難に遭う事件が頻発した。そのたびに、教育委員会から戸締まりと個人情報の管理の徹底が指示された。本校では、定期テストの成績処理や通知票などは、学校のスタンドアローンのデスクトップパソコンで処理し、パスワードをかけ管理している。しかし、その他の日常の教育業務には、多くの先生が個人のノートパソコンを教職員用のLANに接続して

使っている状況である（本来、教員一人ひとりに業務用のパソコンが支給されていれば問題ないのだが……）。そこで、生徒等の個人情報についてはネットワーク上のHDで管理し持ち歩かない。パソコンにはパスワードをかけ、学校において帰る場合には、鍵のかかるロッカー等で確実に管理するようにしている。それでも、個人情報の流出・扱いについての不安は大きく、まして、学校ホームページの開設にも二の足を踏んでいる状況である。

そんな中、この本の出版は実にタイムリーであり、不安を和らげるのに最適な本だと考える。本校でも、この本を参考に、少しでも地域に開かれ、地域に根ざした学校作りをめざし、情報公開に努めたい。（眉山俊敬）

田川プロジェクト2005」。地元  
の梅田川をテーマに大学や  
NPOと連携しながら、エコフ  
ィッシュ（自然素材の水質浄化  
装置）や天水桶（雨水滞留装置）  
の活動を行うなど、梅田川の環  
境保全に取り組んできた作品。  
また、中学校部門は岡山県瀬戸  
内市立長船中学校放送部の「気  
づく心」。放送部がバリアフリ  
ーをテーマに掲げて制作したビ  
デオ作品で、制作に至った思い  
や取材を通して感じたことなど  
が、完成作品から生き生きと伝  
わってくる。

その他、優秀賞には、「『知床  
の自然に迫る』知床のプロに会  
いたい」北海道斜里郡斜里町立  
峰浜小学5・6年、「しぜんだ  
いすき 志和がすき」広島県東  
広島市立西志和小学校1年1組  
「水滴が水中でつくる輪の不思議」秋田県仙北郡美郷町立仙南  
中学校科学部3年、「思い出に

残る1年を目指して」岡山県真  
庭市立中和中学校が選ばれた。  
詳しくは、[http://www.maxell-](http://www.maxell-kids.com)  
kids.comまで。

## 各地の情報

### ■「第17回兵庫県丹波篠山ビ デオ大賞」入賞作品決定

標記コンテストは、地方から  
の情報発信と映像による人づく  
り地域づくりを進めることを目  
的に開催されている。17回目  
を数える今回も、全国から76  
本の作品が寄せられ、厳しい予  
選を通過した17本が、「決勝大  
会」（2月5日開催）に臨んだ。  
結果、ビデオ大賞を始めとする  
各賞が決定した。

○ビデオ大賞：「丹波篠山 く  
ろまめカレンダー」小前みどり  
氏（兵庫県篠山市）

○兵庫県知事賞：「この街をふ  
るさとに～人々をつなぐどんど  
焼き～」馬場英顕氏（神奈川県

横浜市）

○篠山市長賞：「トイレ探検隊  
仕事人と出会うの巻」阪下千代  
美（兵庫県篠山市）

他に、篠山市教育長賞、兵庫  
県芸術文化協会賞など。入賞作  
品をインターネットで放映中。  
[http://edu.clTy.sasayama.hyogo.](http://edu.clTy.sasayama.hyogo.jp/video/index.html)  
jp/video/index.html

〈問い合わせ先〉

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会  
事務局 〒669-2206 兵庫県篠  
山市西吹88-1

TEL 079-590-1301

## 短 信

■(社)映像文化製作者連盟は、  
2月6日付にて事務所を移転し  
た。

〈新住所〉〒103-0022 東京都中  
央区日本橋室町4-2-9 三徳日  
本橋ビル6F

TEL 03-3279-0236

FAX 03-3279-0238